ポスター発表

2025年11月1日(土) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-03] 住民生活への影響を考慮した観光経路探索法の提案

*海沼 希[1]、山本 佳世子[1] (1. 電気通信大学)

キーワード：オーバーツーリズム、住民迷惑度、観光経路探索、蟻コロニー最適化（ACO）、人流データ

近年，訪日外国人観光客の急増により，一部の観光地ではオーバーツーリズムが深刻化している．特に観光客による地域住民の生活空間への流入が問題視されている．本研究はこうした背景を踏まえ，地域住民への影響を最小限に抑える観光経路探索法を提案することを目的とする．複雑かつ多様な制約条件下で適切な経路を導出するためには，短時間で良好な解を得られるヒューリスティック的手法が有効である．本研究では蟻群行動に基づく組合せ最適化アルゴリズムである蟻コロニー最適化（Ant Colony Optimization: ACO）により，従来の最短経路探索では考慮されない地域住民への影響を反映した経路探索法を構築する．具体的には，鉄道の乗車率，人流データ，騒音マップ等の多様な環境指標を統合して「住民迷惑度」を定量化した上でACOアルゴリズムに組み込み，地域負荷の低減を図る．本手法で導出された観光経路は，従来の経路と比較して地域住民への負の影響を軽減する効果が期待される．

©一般社団法人地理情報システム学会